

事業計画

事業方針

高齢化の伸展、独居・高齢者世帯の増加等によって、生活の中で何かしらの支援を必要とする方が増加しています。これまでは家庭や地域で受け止められてきた問題についても過疎化や世帯の小規模化により、それを支える力の脆弱化が懸念されています。

支援が必要な人（支えられる人）、支援する人（支える人）のバランスが大きく崩れてきているとも言われますが、地域の中に暮らす者同士がお互いに出来ることを交換しあう“相互扶助”の姿勢がこれから重要になってきます。

そうした状況の中、社会福祉協議会は「地域福祉の推進を図る団体」としての存在意義を問われる重要な時期に差ししかかっており、本年度設置する生活支援コーディネーターを中心に地域で支援を必要とする方の声を吸い上げ、それに対応する住民参加による福祉活動の推進を図っていきます。

また、介護保険事業については、町内唯一の訪問介護事業所としてサービスを継続して提供していけるよう、安定的な経営体制について検討を行っていきます。

上記を重点項目とし、地域住民やボランティア、民生児童委員、福祉協力員、福祉推進員、行政、関係団体等と連携・協力し、地域福祉活動計画の基本理念「やさしい気持ち おもいやりの気持ちで つながるまち」実現を目指して次の各事業に取り組みます。

事業内容

（網掛け：新規事業及び新たな取組み事項）

1. 法人運営

(1) 組織の運営

- ①理事会の開催 （年5回を予定 4月・5月・6月・10月・3月）
- ②評議員会の開催 （年2回を予定 5月・3月）
- ③監事会の開催 （5月）
- ④部会の開催 （必要に応じて開催）

(2) 財政基盤の強化

会費の使途等について具体的な説明を行うなど社協活動のPRに努め、会費口数・特別会員の増員を図ります。（7月に募集）

(3) 福祉人材の育成

職員の資質向上を目的とした内部研修を行うほか、他機関が行う外部研修に積極的に職員を派遣します。

2. 企画・広報活動

- (1) 広報紙「やおつ福祉だより」の発行（共同募金配分金事業）
社協及び社協事業について住民に理解いただくため、町内全戸に配布する広報紙「やおつ福祉だより」の充実を行います。（年4回発行）
- (2) 福祉映画会の開催（共同募金配分金事業）
福祉について考える機会づくりを行うとともに住民と社協との接点をつくり、社協活動をより理解いただくことを目的とした福祉映画会を開催します。
- (3) 社協の見える化の推進
様々な世代に対して社協の活動を知ってもらうため、ケーブルテレビ、ホームページなどを活用した広報を行います。

3. 調査・研究

(1) 生活困窮者への食糧支援に関する調査・研究

病気や障がい、離職などにより困窮状態にあつて食べる物に事欠く方に対し、企業や個人から寄付していただいた食品を備蓄し、提供するフードバンクについて研究します。

(2) 地域の拠点作りに関する調査・研究

地域の住民が徒歩やコミュニティバスなどを利用して出かけて行き、集まり交流するとともに地域の問題や困りごとについて話をする中で、新しい地域活動が生まれるきっかけが期待できる拠点作りについて研究します。

(3) 在宅介護サービスの安定的な提供に関する調査・研究

仕事量の変動に対応し、安定・継続的にサービスが提供できる体制づくりについて調査・研究を行います。

4. 相談・支援事業

(1) 福祉総合相談の実施

福祉に関する総合的な相談窓口として、職員が電話・面談で相談を受付け、関係機関と連携しながら解決に向けた支援を行います。（随時）

(2) 無料法律相談所の開設（共同募金配分金事業）

生活上の法律問題の解決・支援を目的として弁護士による無料法律相談を実施します。（年6回・偶数月）

(3) 生活困窮者に対する支援

仕事がない、住む家がないなど生活に不安や困りごとを抱えている方の相談を受け、必要に応じて支援制度を紹介したり関係機関へつなぐなどの支援を行います。

(4) 日常生活自立支援事業

判断能力に不安がある方が、地域で安心して自立した生活を続けられるよう生活支援員が定期的に訪問し、福祉サービスの契約の代行や預貯金の出し入れ等をお手伝いします。

5. 地域福祉活動の推進

(1) 地域支援体制づくり

生活支援コーディネーターを設置し、町・関係団体等と協力連携しながら地域で支援必要とする方に対する住民主体のサービスの検討、開発、支え合い体制づくりを進めます。

(2) 小地域福祉活動の推進

民生児童委員・福祉協力員・福祉活動推進員（自治会長）と連携し、地域における福祉活動の推進に努めます。

(3) 地域福祉懇談会の開催

地域における生活上の課題を把握・共有し、解決策について考える地域福祉懇談会を開催します。

(4) 地域の憩いの場づくりの推進

地域の住民が気軽に集うことができる憩いの場づくりを行政・ボランティア等と協力、連携しながら行います。

6. ボランティア活動の推進

(1) ボランティア活動者の育成、普及

① ボランティア講座（生活支援ボランティア養成講座、出前講座）の開催

地域で行われる福祉活動の担い手となるボランティアの養成講座、学校等での出前講座へ講師の派遣を行います。また、講座の受講者を中心にボランティアの組織化を図ります。

② サマーボランティアスクール・ワークキャンプの開催

学校の夏期休暇期間に児童や生徒が福祉について学ぶ講座や体験学習を行う機会づくりを行います。

(2) ボランティア活動者の支援

ボランティア活動者が打合せや活動等に行う会議室や活動に必要な器材等の貸出し、ボランティア団体へ活動費の一部を助成するなどの支援を行います。

(3) ボランティア団体リーダー交流・研修会の開催

町内のボランティア団体の活動が活性化するように活動の中心的立場にある方に対する研修会を行うとともに相互に交流・意見交換する機会づくりを行います。

(4) 災害ボランティアセンターの立上げ訓練の実施

災害時における町外からのボランティアの受入れを想定し、災害ボランティア登録者に参加いただき、自主的かつ効果的な動きができるよう災害ボランティアセンター立上げ訓練を行います。

7. 在宅福祉の推進

(1) 健康・生きがいづくり

① ふれあいいきいきサロン活動の推進

各地域で開催されているサロンへの活動費の助成を更に充実するなどして、サロン活動の更なる活性化を図ります。

②男の料理教室

食生活改善推進協議会に協力をいただき、概ね60歳以上の男性を対象とした料理教室を開催します。

8. 介護保険等事業

(1) 訪問介護事業・介護予防訪問介護事業

介護が必要な高齢者等の自宅へホームヘルパーを派遣し、身体の介護・家事の援助を行います。

(2) 居宅介護支援事業

ケアマネージャー（介護支援専門員）による介護サービスの利用に関する相談支援、ケアプラン（サービス利用計画）を作成します。

(3) 介護保険関連事業

町から委託を受け、要介護認定のための訪問調査、住宅改修の支援、視覚障がい者の外出支援等を行います。

9. 福祉援助事業

(1) 児童福祉

① 育児用品等購入費助成事業（共同募金配分金事業）

子育て中の親を支援するために1歳までの乳児が使用する紙おむつ等の育児用品の購入費を助成します。

② 福祉協力校・福祉協力園の指定と助成（共同募金配分金事業）

町内の全小・中・高等学校・保育園を福祉協力校・園に指定し、各校・園の特色を生かした児童生徒の「福祉の心」を育てる福祉教育を推進します。

③ おもちゃ病院の開設

壊れたおもちゃを修理し、子どもの物を大切にする心を育みます。また、町内のおもちゃドクターの育成を図ります。

④ 放課後児童クラブ（学童保育）の運営支援（町委託事業）

町が行う放課後児童クラブの運営支援を行います。

⑤ 産前・産後ヘルパー派遣事業

産前・産後に母親が体調不良などにより家事や育児を行うことが困難な世帯にヘルパーを派遣し、支援を行います。

⑥ 新入学児童お祝い事業（共同募金配分金事業）

町内の小学校に入学する全ての児童（新1年生）の健やかな成長を願い、記念品（文房具）を贈呈します。

(2) 老人福祉

① 高齢者ふれあい交流事業（共同募金配分金事業）

ひとり暮らしの高齢者の外出の機会づくりと相互交流を目的とした食事会を東部・西部地区で開催します。

②食事サービス事業

調理・配達ボランティアの協力で月2回（第2・第4水曜日）ひとり暮らしの高齢者・高齢者世帯等の内、希望者へ有料（1食300円）で夕食を配達します。

③軽度生活援助事業（町委託事業）

生活上で軽度の援助が必要な高齢者に対しヘルパーが家事の支援を行います。

④福祉用具貸与事業（介護用ベッド、車いす、松葉杖）

病院からの一時退院やケガなどにより、短期間介護用品が必要になる方に対して福祉用具を無料で貸与します。

⑤歳末食事サービス事業（共同募金配分金事業）

ひとり暮らしの高齢者・高齢者世帯の方が明るい新年を迎えていただけるよう赤十字奉仕団の協力で、年末にお節料理を届けます。

⑥歳末お便り激励事業（共同募金配分金事業）

民生児童委員の協力で、70歳以上のひとり暮らしの高齢者宅へ年賀状を作成・送付します。

⑦寝たきりの高齢者に対する布団乾燥サービス（共同募金配分金事業）

寝たきりの高齢者に気持ちよく新年を迎えていただけるよう、使用している布団や毛布の消毒・乾燥を行います。

(3)障がい者福祉

①障害者在宅生活自立支援事業

障がい者が自宅において自立した生活ができるようホームヘルパーが介護や家事の支援を行います。

②重度心身障がい者等へ交通費の助成（町委託事業）

重度心身障がい者・人工透析治療を受けている方に対し、通院のための交通費（タクシー代・ガソリン代）を助成します。

③視覚障がい者へ音訳サービス

音訳ボランティア山びこ会の協力を得て、福祉だより・町広報・議会報等を音訳し視覚障がい者へ郵送します。

④車いす搭載軽自動車（きぼう号）の貸出し

車いすを使用する高齢者や障がい者の外出を支援するため車いすのまま乗り込める軽自動車の貸出しを行います。

(4)母子・父子福祉

①母子・父子家庭親子のつどい（共同募金配分金事業）

母子・父子家庭の親子の夏の思い出づくりとして学校が夏休み中に日帰りのバス旅行を行います。

(5)低所得者福祉

①生活福祉資金の活用指導（県社協委託事業）

必要な資金を他機関からの借り入れることが困難な低所得世帯、高齢者、障害者に対し、世帯の経済的自立を目的として民生児童委員と連携しながら資金の貸付と必要な援助・指導を行います。

②生活一時資金の貸付

一時的に生活費等を必要とする方に対して、他の援助を受けるまでの間、5万円を上限に資金を貸し付けます。

③日常生活自立支援事業利用料の助成（共同募金配分金事業）

日常生活自立支援事業の利用者の内、所得が低い方に対して利用料の一部を助成します。

(6)被災者福祉

①災害見舞金の支給

自然災害や火災により町民の住居や身体に被害が及んだ場合、災害見舞金を支給します。

②災害被災者支援活動

町内で大規模な災害が発生した際、町災害対策本部と連携し、災害ボランティアセンターを立ち上げて被災者からのニーズを受付け、災害ボランティアの派遣等の調整を行います。また、必要に応じて赤十字奉仕団の協力で炊き出しを実施します。

10. 運営基金の造成

(1)運営基金の積立と活用

災害時の被災者支援、福祉事業に使う車両の更新などに備え、福祉基金の造成に努めます。また、その他の積立金も含め、積立の使途や積立計画について検討します。

11. 共同募金運動への協力

(1)赤い羽根・歳末たすけあい募金

住民・関係機関に募金の趣旨や目的を理解いただけるよう広報活動を行い、募金の拡大に努めます。また、町産業文化祭において街頭募金を実施します。

(2)その他の募金（災害義援金等）

災害義援金等の募集に対し、迅速かつ適切な対応を行います。

12. その他

(1)レクリエーション器具及び福祉関係図書、ビデオの貸出し

地域の集まりなどで行うレクリエーションで使用する器具や点字のテキスト、介護法のビデオ等の貸出しを行います。

(2)学校、いきいきサロン等で使用する器材の貸出し

学校の福祉教育で使用する老人体験セット・点字板・白杖・アイマスク、いきいきサロンで使用するマイク設備・DVDデッキ・ハンドベル等の器材の貸出しを行います。

(3)福祉関係者及び団体の活動支援

本会が事務局となっている下記団体の活動支援を行います。

- ・町老人クラブ連合会
- ・町身体障がい者福祉協会
- ・町母子寡婦福祉会
- ・町赤十字奉仕団